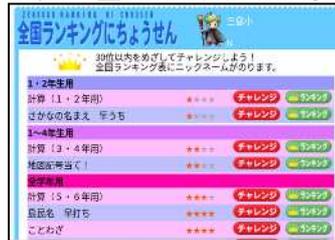


【題材名】 タイピング練習

【内 容】 タイピング練習アプリを活用して、タイピング能力の向上を目指す。

【使用アプリ】 キーボー島アドベンチャー（スズキ教育ソフト）

【事例紹介】 授業のちょっとした時間や休み時間、長期休み等で自主的に練習するよう呼びかけ、タイピング能力の向上を図っています。また、算数科や社会科に関する問題も用意されていて、全国ランキングも表示される点も魅力の一つです。



・進捗状況 (2021/10/02 現在)	
30級～24級	5人
23級～22級	2人
21級～18級	3人
17級～14級	5人
13級～9級	3人
8級～6級	1人
5級～1級	3人
初段	1人
名誉島民	2人

レベルに応じた問題がです。

全国の子どもたちと勝負！

毎週、進捗状況が通知されます。

【解 説】 個々の到達度に合わせて難易度が上がっていくので、児童は意欲的に取り組むことができます。クラス内で級を競い合いながら互いに努力し合っています。進捗状況が管理者に毎週届くので状況に合わせて声掛け等ができます。

【題材名】 国語科 説明文の教材

【内 容】 読解力向上を目指した授業構成と教材開発

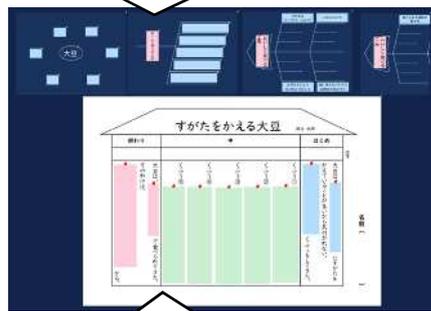
【使用アプリ】 ロイロノート

【事例紹介】 国語科の読解力向上を目指し、説明文の教材でロイロノートのシンキングツールと自作の要約ツールを組み合わせ、授業を構成しています。長文に対して抵抗が強い児童が多いですが、工夫してツールを使用することで読解や要約の力が高まるよう努めています。

シンキングツールで読解を視覚化します。



百字で内容を要約し、共有します。



段落ごとの内容を視覚化します。

【解 説】 文の構造が見える化して、あらすじを要約する指導を通して、読解力向上に一定の成果が上がることを確認してきました。それを、ロイロノートを使い、他者の考えや正解を明確に示すことで、より理解を深める指導の在り方を自主研修しています。11月13日と1月15日の授業UD自主研修会で事例を紹介する予定です。

段落の内容を短くまとめ、読解、要約につなげます。

(教育委員会主幹講評) 愛媛県 ICT 教育推進ガイドラインには、「入力・操作スキル」として小学5・6年生から1分間で入力できる文字数の目安(小学5・6年生：かな漢字交じりで30文字以上 中学生：45文字以上)が示されています。ICTの活用能力の基本スキルとなるタイピング能力は情報化社会では、「読み書き、そろばん」に値するスキルです。日々の隙間時間を利用して自主的に楽しみながら取り組んでいることに感心しました。また、ロイロノートのシンキングツールでの読解の視覚化の活用方法は大きい参考になりました。先生方のアイデアでICTの活用の幅が広がります。失敗を恐れず、どんどんチャレンジして実践事例を共有して、「四国中央市の新しい学び」のスタイルを創造していきましょう。